



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口	
世帯数	2,797 (-9)
人口	6,097人(-23)
男性	2,847人(-7)
女性	3,250人(-16)
(平成28年9月1日現在)	
(カッコ内は平成28年8月1日比)	

梶市長との懇談会

地域の課題で
意見や要望

梶市長と城北コミュニティ役員との懇談会が7月21日、明倫センターで開かれ、市側から梶市長と地域担当職員3人、コミュニティから鈴木会長や各役員14人が出席しました。

最初に梶市長が「東洋新報社の住みよい街ランキングで5年連続四国一に評価されている。城北地区は高齢化が大きな問題であり、介護予防などの事業で他の自治体に劣らない施策に取り組みたい」とあいさつ。質疑に移りました。

各部長からは▽安全パトロールに取り組んでいるが、学校との連携が取れていないのでやりにくい▽コミュニティの見守り活動が前向きにできるような市の地域担当職員がコーディネーターになっ

てはどうか▽緑道公園の樹木が生い茂って暗く、害虫の被害も出ているので伐採してほしい▽コミュニティセンターの前にある丸亀住宅の購入はどうなっているのか――などの意見や要望が出され



住みよい町づくりめざして熱心に意見交換

ました。

これに対して梶市長や担当者らは「学校と地域の連携は大切と思っている。難しい面もあるが、地域の皆さんの力を生かし、ボランティアとして活動してもらう方法があ

り、その場合、学校とボランティアの連絡役としてのコーディネーターが必要で、学校と地域がスムーズに連携できる方法を考えなければならぬ」としたうえで、「緑道公園の伐採計画は29年度に都市計画課が予算要求すると聞いており、どの樹木を切るかは地元と協議

みんな笑顔で楽しく

城北地区敬老会開く

城北地区敬老会（丸亀市・城北婦人会主催）が9月17日、新装なった城北小学校体育館で開かれました。招待された方は玄関で出迎えを受け笑顔いっぱい。可愛い幼稚園児のダンスや歌（写真）、みしま組・和楽メンバーの軽快な踊りで楽しくにぎやかな会となりました。今年度の城北地区招待者は、1149人（男性400人、女性749人）



していく」との考えを示しました。また、丸亀住宅については「購入することで決定しているが、国と価格面で折り合いが付いていない。予算の範囲内で購入できるよう専門家の意見も聞き、粘り強く努力したい」などと回答がありました。

で、このうち約150人が式に出席しました。本年も参加の最高齢者山本ユタカさん（101歳）に記念品が贈呈されました。（城北婦人会）



親子で「防犯マップ」作り

城北小学校児童や保護者、環境部会員、城北防犯パトロール隊員の計35人が参加して7月28日、通学路を中心に「町歩き防犯マップ」を作りました。公益財団法人「明治百年記念香川青少年基金」の助成事業で、丸亀・善通寺・多度津地区防犯協会や丸亀警察署生活安全課などの協力を得ました。

当日は、アドバイザーとして香川大学の白木教授、磯打准教授を招き、子供たちは、事前に学習した資料を持ち寄り、白木教授から防犯マップ作りの注意点や安全確認のポイントなどアドバイスを受けました。児童らは話を聞いて、これまで、あまり気にせずに通っている道路でも、十分に気を配ることが自分の安全につながることや、「自分



マップで安全確認

の身は自分で守る」大切さを実感したようです。

この後、実際に通学路で危険箇所を選んで写真撮影したり、問題点を話し合う様子を録音したりし、明倫センターの講座室に戻り、白木教授のアドバイスを受け、マップを仕上げました。

できあがった防犯マップを手に、児童が作成の経過やマップの見方などの発表を行い、白木教授から「児童の皆さんが中心になり、立派な防犯マップができました」と講評があり、参加者全員で拍手して防犯マップの完成を喜びました。

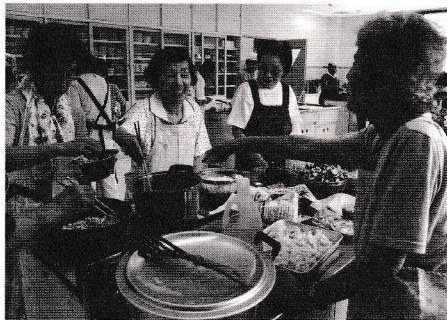
(環境部会)

ゴーヤをおいしく食べつくそう

明倫センターで8月5日、50人が参加して「ゴーヤ料理教室」を開きました。メニューはおなじみのゴーヤチャンプルをはじめ、佃煮や天ぷらなどに取り組みました。

会場には、楽しそうな声飛び交い、男性陣も慣れた手つきで腕を奮っていました。各班とも出来は上々で、参加者全員でおいしく頂きました。

食後に頂いたゴーヤジュースはとて好評で、栄養満点の飲み物で暑い



これでいいかな?

夏を乗り切ろうと、皆で一気に飲み干しました。

(環境部会)

健康教室

「あなたの骨は大丈夫」

6月30日明倫センターで開催、78人の参加がありました。講師に広瀬整形外科医院院長を迎え骨粗しょう症とロコモ予防について講話と実技指導を受けました。ロコモ予防とは運動器(骨、関節、筋肉、神経)の働きの低下を防ぐ運動をする事です。大きくは、下肢筋力



真剣に聞き入っています

をつける「スクワット」、バランス能力をつける「片足立ち」等よく知られた運動です。バランスの良い食生活も骨粗しょう症予防につながる事を学びました。(保健部会)

第20回 ほくほくふれあいまつり

10月9日開催

第20回ほくほくふれあいまつりを、10月9日(日)午前9時から新しくなった城北小学校で開催します。

子供たちの作品の展示については体育館の位置の関係により、明倫まつ

りで一括して展示することになりました。

くじ、バザー、喫茶、血管老化度等測定コーナー、運動場での4、5歳児の発表、子供たちの競争、高齢者や保護者など全員でのゲーム等も従来どおり行います。

是非皆様お誘い合わせのうえご来場ください。

ノルディックウォーク講習会

6月19日、城北小学校体育館で30人が参加して初心者向けの講習会が開催されました。

講師から2本のポールの使い方や歩き方、その効能などを具体的に楽しく指導を受けました。

(体育部会)



ハイ!! ヨーイ スタート

手芸教室で折り紙人形

7月8日明倫センターで55人が参加し、婦人会会員本西さんの指導で「あね様人形の箸入れ」を作りました。見本を手にした時は皆さん「えっこれ作れるん?」「ウワ



細かい作業です

「きれいなけどなあ…」とガヤガヤ。でもなんとか形になってくるとあちこちで「かわいい」「これは飾れるなあ」と仕上がりになり満足し、大変な盛況となりました。

(城北婦人会)

脳トレ講座のお知らせ

親がぼけると子供もぼけやすいのは遺伝ではなく、仕事一辺倒の無味な生活、感動の少ない生き方が子供や孫にまで悪影響を与えたとの説もあります。すでに活用している脳トレ教材とビデオ教材と共に、イキイキ音楽活動を行います。

・脳トレとビデオ教材

毎月第3金曜午後1時

30分から

・イキイキ音楽活動

毎月第2火曜午後1時

30分から

(文化部会)

室内ペタンク大会

盛大に開催される

8月7日、城北小学校体育館で過去最大15チームが参加して行われました。

結果は次の通りです。

優勝 城北ペタンクA

2位 若葉会B

3位 バボチャングズ

3位 トトロ

(体育部会)



どっちかな?

夏恒例 ラジオ体操



7月24日と8月21日の2日間実施
みんなで元気にイチ、ニ、サン

体育館遊び

8月26日、丸亀市民体育館でトランポリンや大型積み木を使って15人の子供たちが遊びました。人数が少なかつたのでトランポリンも使い放題、思いっきりはねてとんで楽しみました。

今回は愛育班に入会して

いない子も参加。積み木のトンネルやお山に登って広い体育館を動きまわりました。お母さんたちは、子供たちについて動くのが大変でした。

(城北愛育班)

親子料理教室

8月4日、明倫センターで大人14人、子供15人が参加して行いました。

今回は子供だけの参加が多く、苦戦する子、テキパキと作る子もいて、楽しく和気あいあいの教室でした。メニューは

- ☆にぎやかバーベキュー
- ☆きらきらゼリーサラダ
- ☆フレッシュコーンスープ
- ☆ロハロハ

いかにも夏らしく野菜一杯の献立でした。(みんな!おいしかったね)

(保健部会)



さあ、はじめよう

学園の現場から

丸亀市立東中学校

校長 立石 陽志

丸亀市立東中学校は、毎年、丸亀市民会館で『兄弟姉妹学級コーラス大会』を開催しています。この「コーラス大会」は、編成方法に特徴があります。抽選によって決定した1・2・3年生それぞれ1クラス、合計3クラスの約100人がひとつのチーム（兄弟姉妹学級）を組み、3年生が中心となって合唱曲を仕上げていくのです。

夏休みが終わるとチームの練習は本格化します。早朝練習に始まり放課後練習まで、まさに学校は歌声に包まれます。また、練習のあとにはパートリーダーが開かれ、その日の練習に対する

総括が行われます。チーム通信も発行されるなど、お互いにその意識を高め合っています。

このコーラス大会は、初夏に行われる運動会とともに『東雲祭』と呼ばれ、東中学校を代表する2大イベントとして根づいています。

第30回を迎えるコーラス大会

練習、そして本番を通して流れる汗と涙。身体中を駆けめぐる様々な想い。それらのひとつひとつが、東中生をさらに成長させてくれているのだと信じます。

第1回大会から会場として歴史を刻んできた市民会館は、平成28年度末でその幕を閉じることが決まっています。市民会館で歌う最後の兄弟姉妹学級コーラス大会は、第30回記念大会として、10月1日（土）に行われます。合唱はチーム力。上質の集団、上質の歌声をめざし、今年も兄弟姉妹学級のチーム全員で力を合わせてすばらしい合唱を創っていききたいと思えます。

城北地区の歩み・戦後の出来事

☆1968年・昭和43年

- ・予讃線高松～多度津間の無煙化で蒸気機関車（SL）姿消す（4月）
- ・土器川が2級河川から1級河川に格上げ。国の管理となる（4月）

☆1972年・昭和47年

- ・城北地区内の都市ガス供給エリア広がる

☆1978年・昭和53年

- ・東汐入川緑道公園開園（1月）
- ・土器川潮止せき完成（3月）

☆1984年・昭和59年

- ・県立丸亀病院が北平山町から土器町へ移

転（2月）

- ・京極通りが県道33号高松善通寺線に変わる（4月）



旧丸亀駅舎

- ・フェリー通り（市道）が県道丸亀港線に変更（4月）

☆1987年・昭和62年

- ・城北小学校創立100周年（5月）
- ・新丸亀駅開業。同時に土器川西岸から丸亀駅までが高架・電化となり踏切が全廃された。城北小児童の安全通学にプラスとなった（10月）

☆1988年・昭和63年

- ・瀬戸大橋開通（4月）
- ・さぬき浜街道が暫定2車線で全線供用開始（11月）

= 続く =

土器川潮止堰サイレン

土器川の蓬萊橋上流に潮止堰が設置されています。洪水時に自動で収縮し倒れ、水の流れをよくする構造になっており、その後、堰に貯った水が一気に流れ、下流の水量が急に増えます。サイレンでお知らせしますので、河原には下りないでください。

アナウンス	サイレン	休止	サイレン	休止	サイレン
	約1分	約5秒	約1分	約5秒	約1分

あとがき

オリンピックの16日間や高校野球での球児たちの活躍。地域の夏祭りも終わりました。暑かった夏が私たちを大変熱くしてくれました。ありがとう日本。がんばろうみんな。（佐野）

城北コミュニティだより「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行（1月、4月、7月、10月の各1日付）

「城北コミュニティセンター」の名称を「ともしび」紙上では「明倫センター」と表記しています。